

英語を楽しく

No. 45

10, March

☆ **must can may** などの助動詞について考えてみると。

1, なぜ、「助動詞」というのだろうか

それは、「動詞」の意味に話者の気持ちを付け加えるから。

例、**He is serious.**

彼は、まじめです。

He must be serious.

彼は、まじめにちがいない。

下線部の「ちがいない」が話者の気持ちですね。

同様に

He can't be serious.

彼は、まじめであるはずがない。

He may be serious.

彼は、まじめかもしれない。

注 50%の確率

※ maybe (かもしれない) は 20% ~ 30% の確率で使う。

例文 **Maybe it will rain tomorrow.** もしかしたら明日は雨かもね。

この **Maybe** はいつも文頭

2, **must ≠ have to**

must = have to と学校で習ったっよ。

「～しなければならぬ。」という意味においては同じですが。

must はこんな時に使う。

I must go soon.

僕はすぐに行かなくちゃ。

I must cut my hair.

僕は髪を切らなくちゃ。

have to はこんな時に使う

You have to go soon.

君はすぐに行かなければいけません。

You have to cut your hair.

君は髪を切らないといけません。

自分自身のことを言う場合には **must** を
他人が相手のことを言う場合には **have to** 使う。と覚えておけばいいと思います。

でも、この二つを取り違えて言っても通じるはず、ただ聞いた米英の人は「なんとも表現しにくい気分」になるかも。

参考例文 **must** の別の使い方

Naomi が Jack に 自分が作ったケーキを持ってきて、

“**Jack, you must have this cake.**” と言うと

「このケーキ (とても美味しいわよ) ぜひとも食べてね。」の意味で、**must** 強く言うと気持ちがグッと出ます。

誰かに一度使ってみては。きっと、よく **must** の使い方を知っていると思われることでしょう。

Yoshi